

種子島の牛肉を学校給食で！

11月6日、西之表市にある11の小中学校にて、西之表市和牛振興会より贈呈された和牛を使用した牛丼が給食で振舞われました。それに伴い、西之表市の住吉小学校で給食会が開かれ、西之表市教育委員会教育長の佐藤秀正氏や西之表市和牛振興会副会長の瀬川実明氏が、5・6年生の児童ら10名と一緒に参加しました。

今回の給食への牛肉提供は、昨今の物価高による牛肉消費量の低迷を受け、地域から牛肉消費を促すことを目的としています。給食に牛肉が並ぶことは珍しく、参加者は楽しく会話をしながらおいしそうに食べ、全員がきれいに完食。おかわりが無いことを残念がっていました。

食後には子牛が牛肉になるまでの過程を動画で視聴しました。児童らは「種子島の牛肉をあまり食べたことはなかったが、とてもおいしかった」「これからは牛を育てている人たちのことを考えながら食べたい」と牛肉の美味しさに感動した様子でした。

瀬川氏は「子供たちが美味しいと残さずに食べてくれたことは、生産者として非常にうれしく思う。現在牛肉消費量が低迷しているので、皆さんに鹿児島黒牛の美味しさを味わってもらいたい」と話しました。



▲撮影されながら給食は緊張。



▲インタビューを受ける西之表市和牛振興会の瀬川副会長と中村指導員

種子島の2町で祭を開催



▲▼長〜い行列に大忙し！



11月1日に中種子町の中央体育館前広場で第46回農林漁業祭、2日から3日にかけて南種子町の福祉センターや農業者トレーニングセンター、前之峯陸上競技場でふるさと祭が開催されました。

それぞれの祭は活気ある町づくりを目指して毎年開催されており、屋外では所狭しと店舗が並びました。

J A種子屋久からは抽選会に多くの景品を提供。職員に加えて各振興会組織やJ A女性部、青壮年部が参加し、野菜や焼きもち、牛肉などの販売で長蛇の列をつくり会場を盛り上げました。